

科目名	地理学概論		英文表記	Geography		3月28日	
科目コード	3019						
教員名：木村和雄 技術職員名：						修正	
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
全学科			3年	必	履修	2単位	講義
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合			
	①現代社会を構築してきた人々の活動を地理的に把握する。			①講義による知識と視点の定着程度を定期試験の得点で評価する（50%）			
	②社会を表現する様々な空間情報を統計や地図を通じて理解する。			②課題に応じた資料収集とその解釈力をレポートの作成によって評価する（40%）			
	③自らが生きる地域像を形成しそこへ参画する態度を身につける。			③定期試験における論述問題の得点によって評価する（10%）			
	④			④（%）			
	⑤			⑤（%）			
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		
				◎	JABEEプログラム教育目標		
授業概要、履修上の注意	授業は主に講義形式で行う。講義は1)地圏環境と空間利用、2)人口の分布、構造と変化、3)産業立地の、3テーマに分けて進める。それぞれについて、情報を収集し解釈・表現するためのレポートを課するとともに、知識や能力の定着を定期試験で評価する。						
教科書・教材	主な教材は教員が編集・作成したプリントおよびプレゼン資料である。レポート作成やそのための統計資料収集の際には、各種電子情報を用いるのでPCを携帯すること。また地図帳（新たに購入したものでも、中学校でついていたものでも良い）も持参すること。						
授 業 計 画							
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目	
1	地理学への招待	2	授業の進め方と学説史を概説する。				
2	静気候1	2	地球規模の成帯的な統計気候を学ぶ。				
3	静気候2	2	日本や沖縄の統計気候的位置を知る。				
4	動気候	2	天気図や衛星画像などから気候を学ぶ。				
5	応用気候	2	気候のもたらす恩恵や災害について知る。				
6	土壌と植生	2	成帯的な地圏環境について学ぶ。				
7	水文循環	2	水の分布と動きについて知る。				
8	中間試験	2	実施する				
9	内力と地形1	2	地球規模の地形について学ぶ。				
10	内力と地形2	2	日本や沖縄の地形的骨格を知る。				
11	外力と地形1	2	山地・丘陵地について学ぶ。				
12	外力と地形2	2	低地・台地について学ぶ。				
13	応用地形	2	地形のもたらす恩恵や災害について知る。				
14	地圏環境に関する演習1	2	2011東北関東大震災を地理的に考える。			レポート作成を課す	
15	地圏環境に関する演習2	2	震災の教訓を他地域で活かすには？				
期末	前期末試験		実施しない				
16	世界の人口1	2	地球規模の人口分布と変化を学ぶ。				
17	世界の人口2	2	世界各地の人口の社会的構造を学ぶ。				
18	日本の人口1	2	日本国内の人口の分布と変化を学ぶ。				
19	日本の人口2	2	日本各地の人口の社会的構造を学ぶ。				
20	集落と都市	2	人口の集積する「場」を知る。				
21	商業立地1	2	中心地理論と商圏の関係を学ぶ。				
22	商業立地2	2	日本国内における商業立地の変化を知る。				
23	中間試験	2	実施する				

24	人口と市場に関する演習	2	人口や商業に関する資料分析を行う。	レポート作成を課す
25	農業立地の地域性	2	世界の第1次産業立地について概観する。	
26	近代工業の成立と展開	2	世界の工業立地について学ぶ。	
27	日本の工業地域1	2	日本の近代工業の成立と展開を学ぶ。	
28	日本の工業地域2	2	構造転換期の工業立地を分析する。	
29	日本の工業地域3	2	工業立地の業種別の事例を学ぶ。	
30	日本の工業地域4	2	工業立地の地域別の事例を学ぶ	
期末	後期末試験			
学習時間合計		60	実時間	50